

“計量記念日” にちなんで11月3日(水)に ジンベエザメの全長をダイバーが実測します

海遊館（大阪市港区）では、“計量記念日”にあたる2021年11月1日（月）にちなみ、11月3日（水）に「太平洋」水槽で飼育しているジンベエザメの全長をダイバーがメジャーを使い実測します。



ジンベエザメの給餌中に計測します（昨年の様子）



計測はダイバーによる実測です（昨年の様子）

海遊館では、まだ詳しい生態のわかっていないジンベエザメの生態研究や体調管理の一環としてジンベエザメの全長測定を行っています。

全長測定はメジャーによる実測を行っており、この方法は給餌中のジンベエザメの体に触れるトレーニングによって実現しました。

海遊館では、計量記念日を通して生き物たちが元気に成長する様子を紹介し、自然環境について興味を持っていただきたいと考えています。

今回の計測結果は11/3（水）の午後に改めてお知らせします。

【取材について】

ダイバーがジンベエザメ（一頭）の全長を実測する様子を撮影していただけます。

ご希望の方は、11月2日（火）17時30分までにご連絡ください。

また、素材提供をご希望の場合も海遊館広報チームまでご連絡ください。

連絡先：海遊館広報チーム 06-6576-5529

《ジンベエザメの計測について》

■日時：2021年11月3日（水） 10:30～10:40

■場所：「太平洋」水槽5階

■個体：愛称：海（かい） 性別：オス 推定年齢6～7歳

《昨年の結果について》

	全長（実測）	体重（推定）
遊（ユウ）	5.70 m	1,400 kg
海（カイ）	4.50 m	750 kg

《飼育展示中のジンベエザメについて》

■愛称：^{ゆう}遊（メス）

2014年7月17日に高知県土佐清水市以布利港の沖合約2kmに設置された定置網に入網し、8月6日に高知県にある海遊館の研究所・以布利センターの水槽に搬入。同年8月25日に海遊館に搬入。

■愛称：^{かい}海（オス）

2019年9月1日に高知県室戸市沖の定置網に入網し、9月3日に以布利センターの水槽に搬入。同年10月18日に海遊館に搬入。

《ジンベエザメについて》

■英名：Whale shark

■学名：*Rhincodon typus*

温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。体は灰色で白色の斑点が散在し、小型甲殻類などのプランクトンを食べます。12m以上になり、稀にさらに大きく成長する可能性があると考えられています。

《計量記念日について》

計量に関する制度は、経済・社会の最も基本的な制度であり、国民生活のあらゆる分野の基盤的制度です。計量の基準を定め、適正な計量を確保することは、日常の生活を守るとともに、経済の発展及び文化の向上のために非常に重要なものです。

経済産業省では現行の計量法が施行された平成5年11月1日にちなみ、以後11月1日を「計量記念日」とし、また11月を「計量強調月間」とし、計量制度の普及や社会全体の計量意識の向上を目指しています。

（一般社団法人日本計量振興協会ホームページより）